

“患者”と“医療者”による本当のチーム医療とは!?



患者参加型医療

本当のパートナーシップの実現を目指して

編著者 岩堀 禎廣
著者 鈴木 信行, 有田 悦子
A5判/104頁/定価1,800円+税

医療のこれからのあるべき姿である「患者参加型医療」。その考え方を広め、実現するために、患者と医療者双方の立場から“わかりやすさ”をコンセプトに概念や課題などについて詳述しています。



患者

話を聞いてくれない
相談したいけど言えない

望んでいた治療と違う

薬は飲みたくない...

必要な話はした

エビデンス的に
ベストな治療選択をした

治療に来る患者は、
必然的に薬を欲しがっている



医療者

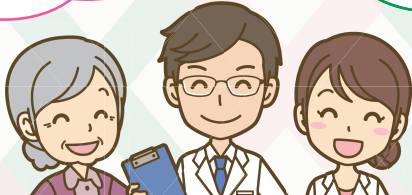
患者と医療者の間にある考え方の差や様々な誤解を「患者参加型医療」の実現で解決すると



話をして納得のいく治療を
前向きに取り組みたい

何でも相談してもらえ
患者との信頼関係を築きたい

信頼できる医療者に
最後までお願いしたい



医療者だけでなく
患者と一緒に治療方法を
決めていきたい

第1章 患者参加型医療とは？

医療の中心であるはずの患者が実際の治療の意思決定において置き去りにされている現状について具体例を交えながら説明。

また、患者参加型医療における患者の役割についても記載。

第2章 なぜ、患者は薬を飲まないのか？

「患者参加型医療」の概念の基になる、「コンコーダンス・モデル」(患者と医療者が同じチームの一員となり治療に関する様々な問題に対し、協力・情報交換を行い、互いの意見を尊重し、治療方針を決めていくこと)の考え方を中心に詳述。

第3章 患者視点のない医療者は生き延びれない

自身もがん患者として加療中である、患医ねっと代表の鈴木信行氏が、自身の体験も踏まえながら、「患者参加型医療」の実現に向けた患者側と医療者側それぞれの考え方について記述。

第4章 患者の想いを共有するために ～薬剤師と患者のコミュニケーション～

医療者と患者が互いに歩み寄るために、また双方にあるギャップを埋めるために必要なコミュニケーションのあり方などについて記述。

第5章 最初の一步は薬剤師から！

知識量や認識の差が大きく関係構築が難しい医師と患者の間に立ち、良い関係を築くためのキーパーソンとなる「薬剤師」。
患者参加型医療に対する薬剤師の関わり方や実現に向けたヒントなどを記載。

「一緒に」をキーワードに、積極的な患者と医療者のより良いパートナーシップ関係の構築を目指すために、薬剤師をはじめとする医療従事者はもちろん、患者やその家族も読んでほしい一冊です。

【申込書】

年 月 日

ISBN : 978-4-8408-1495-9	患者参加型医療 本当のパートナーシップの実現を目指して	定価1,800円+税	申込冊数 冊
ご送付先住所 〒			書店様番線印(書店申込)
貴施設・貴社名	部署名		
ご担当者名	お電話番号		

●書店へのご注文は冊数をご記入の上、お近くの書店にお申込み下さい。
●弊社に直接ご注文の場合には必要事項をご記入の上、FAXにてお申込み下さい。
別途送料(国内1箇所送付につき550円、重量が5kgを超えた場合は850円)を頂戴します。

薬事日報社行きFAX
⇒ 03-3866-8408